

鵜川にわか祭

鵜川の「にわか祭」は8月27日から翌未明にかけて行われました。弁天をまつる海瀬神社の祭りです。街中を「やっさい」というかけ声と共に走り抜け、菅原神社鳥居前の「見卸しの浜」では激しく回り、勇壮な姿を見せました。

「にわか」には、勇壮な武者絵が描かれています。この「にわか」絵は、地元の絵師によって描かれていて、今年は能都中3年の竹口陽平さんが「馬場組」のにわか絵を描きました。中学生の絵師誕生は、陽平さんの父・太郎さん以来、約30年ぶりです。



▲自らが描いた絵のもとで太鼓を叩く竹口さん（左）



▲見卸しの浜で勇壮に回った



▶海瀬神社に向かって突進し、大きく傾くにわか

▼海瀬神社境内に集結した8基



小木袖キリコ祭り

小木・御船神社の秋祭りは9月17〜18日に行われ、9基の袖キリコが町内を練り歩きました。17日の夜には、御船神社近くの階段を荒々しく登る「宮上げ」があり、雨が降りしきる中、「ヨイトシヨ」のかけ声で力を合わせ、大型のキリコを担ぎ上げました。その様子を見物に訪れた多くの人々が、港町らしい勇壮な祭りの迫力に見入りました。



ロープを引き、肩で担いで力を合わせて石段を登る

柳田大祭

柳田・白山神社の「柳田大祭」は9月16〜17日に行われました。柳田地区のキリコは大型で、灯りにろうそくを使っているのが特徴です。16日の宵、3基のキリコと5基の神輿が御旅所を目指してゆつくりと進みました。暖かな色で揺らぐキリコを撮影しようと、多くのカメラマンが訪れました。



キリコの灯りが白山神社の境内を淡く照らす

御旅所から神社に戻ってきた野田の大キリコ

